

# 広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針

— 人と船が行き交う瀬戸内海の玄関口 —



平成24年8月  
広島県

**【表紙の唄】**

みなとの唄（明治 29 年 国民唱歌）

作詞 旗野十一郎 作曲 吉田信太

元宇品と宇品に架かるめがね橋（現あかつき橋）から眺めた、当時の宇品港の活気溢れる光景を唄ったものと言われています。

**【表紙の写真】**

中央 : 帆船フェスタ（日本丸） [宇品波止場公園]

下左 : クルーズ船とプロムナード [宇品デポルトピア]

下中 : 原生林・自然海岸 [元宇品地区]

下右 : 広島みなと夢花火大会 [宇品波止場公園他]

---

## 目 次

---

I	基本方針の策定にあたって	1
1	策定の趣旨	1
2	策定の目的	1
3	期間	1
4	位置づけ	1
5	範囲	3
II	宇品・出島地区の現況	4
1	宇品・出島地区の現状	4
2	宇品・出島地区の利用者、住民の意向	8
3	関連計画から求められること	11
4	歴史から読み取れること	13
III	賑わい創出の基本理念	14
IV	実現を目指すイメージ	16
V	求められる取組	17
1	みなと資源の有効活用の取組	17
2	交通環境の向上の取組	24
3	ブランド力向上の取組	31
VI	基本方針の実現化に向けて	37
1	P D C Aサイクルの導入	37
2	具体化に向けたエリアマネジメントの推進	37
VII	取組の一覧	39
1	全体図	39
2	全体表	40

# I 基本方針の策定にあたって

## 1 策定の趣旨

広島港宇品地区では、瀬戸内海の海上旅客交通の拠点として、島嶼部や四国との定期旅客航路が開設されており、「広島港宇品旅客ターミナル」は、年間200万人以上もの人々に利用されています。

また、出島地区では、中国・韓国をはじめとするアジア諸国や東南アジア諸国等との定期コンテナ航路が、開設されており、広島市を中心とする広島都市圏を背後に有する県内唯一の国際拠点港湾として、中国・四国地方の物流拠点となっています。

宇品・出島地区は、加えて、県民の交流の場（賑わい空間）としてのニーズが高まっており、美しい瀬戸内海の風景を楽しみながら、自然・歴史・文化に触れ合える場や、多様なレジャー等が楽しめる場などに対する機能の充実が求められています。

こうした中、本地区では、これまで、宇品外貿埠頭及び宇品波止場公園におけるクルーズ客船の誘致や入港歓迎イベントの実施、宇品中央地区（宇品デポルトピア）における港湾倉庫等の商業施設への利用転換、さらには「広島港宇品旅客ターミナル」における商業テナントの募集など、臨海部の賑わいづくりを進めてきました。

今後、本地区において、一層、活気と賑わいのある魅力的な空間を効果的に創出していくためには、既存の港湾施設の有効利用を図るとともに、整備を進める上での「基本コンセプト」や「地区ごとのイメージ」、「具体的な取組」、「整備スケジュール」等を定める必要があります。

このため、これらの内容を取りまとめた「広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針」を策定することにしました。

## 2 策定の目的

「広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針」は、宇品・出島地区の臨海部におけるみなと資源の有効活用の方針、民間活力の活用方針、回遊性の向上を図る方策、これらの方針や方策を実現させるための取組などを含め、活気と賑わいのある魅力的な空間を形成し、多くの人々が訪れ、憩い、楽しめる空間を創り出すことを目的とします。

## 3 期間

期間は、平成24年度から、次の3段階を設定します。

- 短期 : 5年以内 (平成24年度～平成28年度)
- 中期 : 6年～10年 (平成29年～平成33年度)
- 長期 : 11年以降 (平成34年度～)

## 4 位置づけ

「広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針」は、広島港全体の基本方針を定めた「広島港港湾計画」や、本県の目指す将来像を示した「ひろしま未来チャレンジビジョン」や社会資本のマネジメントの基本方針を定めた「社会資本未来プラン」さらには「瀬戸内海の道構想」に基づき、当地区のさらなる賑わい創出を実現するための基本方針を定めたものです。

また、広島市の「基本計画」においても、活力とにぎわいを生み出す都市づくりの推進として、当地区の魅力的な港空間づくりが位置づけられています。

今後、基本方針の内容については、「広島市都市計画マスタープラン」に反映させるとともに、広島市と連携し、関連する計画との整合性を図りながら、この方針に基づく具体的な取組の実現を図っていきます。

## 広島県の上位計画

平成 22 年 10 月  
ひろしま未来チャレンジビジョン(本県の目指す姿[将来像])

### 4つの挑戦の取組方向

- 「新たな経済成長への挑戦」(観光)  
国内外からの観光交流人口の増加
- 「豊かな地域づくり」への挑戦(都市地域)
  - ①有効な土地利用とその転換の促進等による市街地の再生
  - ②水際空間の利活用による賑わいの創出

平成 23 年 3 月 社会資本未来プラン  
(社会資本のマネジメントの基本方針)

### 社会資本マネジメント方針

- 社会資本整備の重点化(集客・交流機能の強化とブランド力向上)
  - ①県内の観光資源をつなぐネットワーク形成
  - ②観光インフラの充実
  - ③新たな魅力を創出するみなと環境の整備
  - ④空港施設機能の充実等

平成 23 年 3 月  
瀬戸内 海の道構想  
(瀬戸内ブランド力の向上)

### 戦略テーマ

- 船と航路とみなと賑わい
- 瀬戸内サイクリングロード
- 瀬戸内食のトップブランド等 7つのテーマ

[関連計画]広島県みなと振興プラン  
(港湾機能の強化を推進する実施計画)

### 基本方針

- みなと振興の重点化(産業振興, 観光振興等)
- 港湾施設の有効活用
  - ①ポートセールスの取組
  - ②港湾経営民営化の取組
  - ③港湾施設の利活用による賑わい空間づくり
  - ④クルージング支援の充実
- 港湾施設の適正な維持管理

## 広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針

### 広島港港湾計画

- ・緑地の計画等(H11.3変更)
- ・交流厚生用地[商業施設用地]の計画等(H22.12変更)

## 宇品・出島地区賑わい創出関連計画

平成 17 年 3 月  
魅力ある港賑わいプラン  
(利用者・市民の視点を反映した利活用アイデア)  
○魅力的なみなと空間づくり  
○広島港旅客ターミナルを拠点とする情報ネットワークづくり  
○行政・地域・企業・NPO 等を含めた協働体制づくり

昭和 62 年 3 月  
広島ポートルネッサンス21  
(広島海の玄関口にふさわしい空間利用計画)  
○広島海の玄関口としての顔づくり  
○周辺部の都市問題解決のための利用  
○国際港湾都市の建設

## 広島市の計画等

平成 21 年 10 月  
広島市基本構想, 広島市基本計画

### 分野別計画

- 生活基盤の整備(バランスのとれた有機的都市構造の形成)
  - ①有機的都市構造の形成
    - ・都心 : 市内中心部
    - ・拠点地区 : 宇品地区等 12 地区
  - ②都心や拠点地区における都市づくりの推進
    - ・宇品地区の臨海部における既存倉庫を活用したにぎわい施設の整備
    - ・観光クルーズ客船の寄港促進など魅力ある港空間づくり

- 千客万来の都市の実現(活力とにぎわいを生み出す都市づくりの推進)

- ①魅力ある都市空間の形成
  - ・広島駅周辺地区
  - ・紙屋町・八丁堀地区等
- ②「水の都ひろしま」づくりの推進
  - ・4つのモデル地区(猿猴川, 京橋川, 本川・元安川, 太田川放水路)
  - ・五日市地区港湾緑地や宇品地区臨海部におけるにぎわい施設の整備による魅力的な港空間づくりなど
- ③多様な資源を生かした都市づくり

### 区の計画

- 南区まちづくりビジョン(宇品・似島地区のまちづくりの方向)
  - ①港のにぎわいの創出と海を感じることでできるまちづくり
  - ②歴史・文化を身近に感じることでできるまちづくり
  - ③海・島・緑の多彩な自然を守り育てるまちづくり

平成 25 年変更予定  
(現行 平成 13 年 1 月策定)

### 広島市都市計画マスタープラン

- 都市づくりを進める上での総合的な指針
- 市民と一体となったまちづくりを進めるための指針

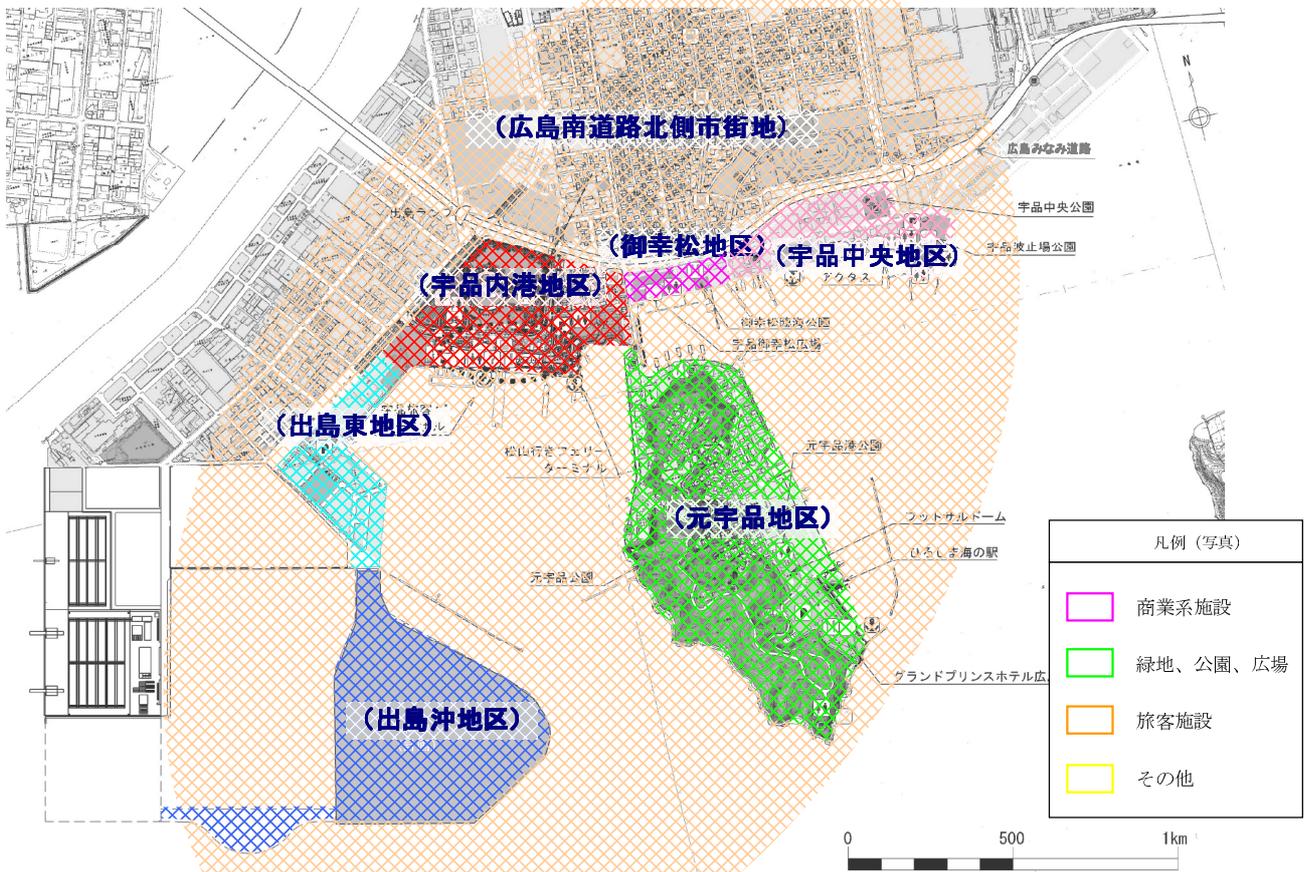
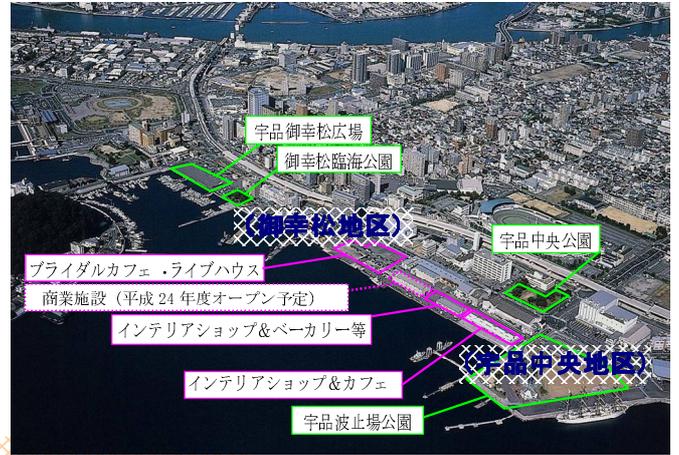
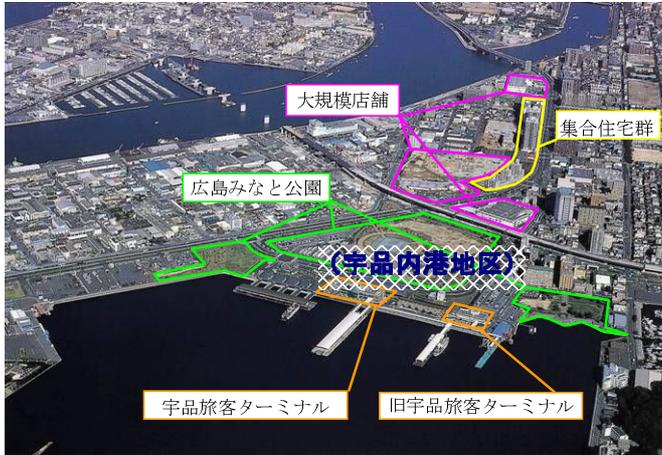
平成 23 年 3 月  
みなとオアシス広島

国や県と協力して, 宇品地区周辺を中心に, 市民等と連携したみなとの賑わいづくりを行うもの

連携

## 5 範囲

広島港宇品中央地区から出島沖地区まで、及び元宇品地区と広島南道路北側の市街地等を含む範囲とします。



## II 宇品・出島地区の現況

### 1 宇品・出島地区の現状

#### ○強み

##### 宇品・出島地区全体

- ・ 多くの自然資源や歴史資源、緑地があり、瀬戸内海の自然景観や行き交う船舶を眺められるなど、みなとの美しさや活力を感じられる場所です。
- ・ 周辺には、二つの世界遺産（原爆ドーム、厳島神社）があり、多くの観光客を呼び込める高いポテンシャルを有しています。

##### 宇品中央地区～御幸松地区

- ・ 倉庫などを商業施設に利用転換し、新たな魅力を提供しています。（3店舗[約1.1ヘクタール]が利用転換済み）
- ・ 宇品波止場公園では、外国からの客船入港時等にイベントを開催し、多くの人々が訪れています。
- ・ 商業施設とその一帯のエリアの愛称を「宇品デポルトピア」と定め、イメージアップを図っています。
- ・ 明治以降の旧宇品港の発展を示す歴史資源が数多くあります。
- ・ 御幸松地区には、商業施設等に利用転換できる広い空間があります。
- ・ 水際線では、瀬戸内海の多島美や元宇品の緑を眺めることができます。

##### 元宇品地区

- ・ 瀬戸内海国立公園に指定されており、クスノキ等の照葉樹で構成される原生林があります。
- ・ 原生林や自然海岸では、多様な生物に触れ合うことができます。
- ・ 海に沈む夕日や行き交う船舶など、瀬戸内海の美しい景色を眺めることができます。
- ・ ひろしま海の駅や民間マリーナ、ホテルなど、海と関わりの深いレジャー施設が多数あります。

##### 地区内の港湾緑地

宇品波止場公園	2.2ha
宇品中央臨海公園	0.5ha
御幸松臨海公園	0.2ha
元宇品港公園	0.2ha
広島みなと公園	9.0ha

※ 工事中の33ha除く



宇品波止場公園のイベント

##### 平成23年度開催の主なイベント

- ・ 広島夢花火大会（H23.7）  
： 約43万人（民間・市）
- ・ 帆船フェスタ（H23.10）  
： 約2.8万人（県・市）

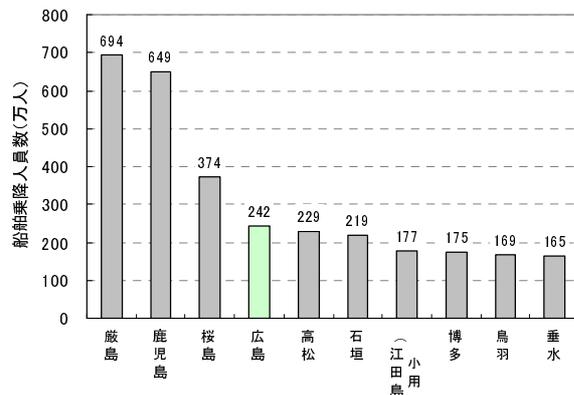


元宇品から望む夕日

## 宇品内港地区

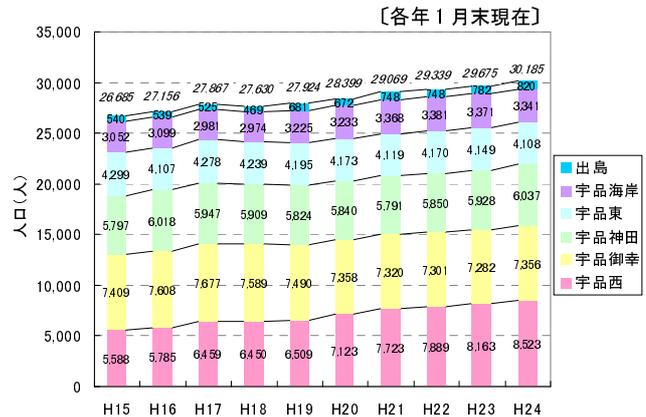
- 宇品旅客ターミナル及び旧宇品旅客ターミナルは、全国有数の船舶乗降人員数を誇り、多くの人々で賑わっています。

港湾別船舶乗降人員数（平成 21 年）



※船舶乗降人員数は、港内航路を含んでいません。  
出典：港湾統計（年報）平成 21 年

宇品・出島地区周辺の人口推移



出典：住民基本台帳

- 宇品旅客ターミナル及び旧宇品旅客ターミナルには、商業施設や会議室として使用できるスペースがあります。
- 広島みなと公園は、上下水道施設及び配電設備が整備されており、様々なイベントやスポーツ、レクリエーションに使用されています。

### 平成 23 年度開催の主なイベント

- かき小屋 (H23. 11～H24. 5)  
： 約 13 万人 (民間・県)
- 瀬戸内うまいもんぐらんぷり (H24. 3)  
： 約 3 千人 (民間・県)

- 広島南道路北側は、近年市街化が進み、人口や商業施設が増加しています。

## 出島東地区

- 商業施設等に利用転換できる広い空間があります。
- 大型船舶を停泊できる係留施設があります。
- 広島特別支援学校の建設工事が進んでおり、新たな土地利用の動きがあります。
- 水際線では、瀬戸内海の多島美や元宇品の緑、宇品旅客ターミナルを発着する多くの船舶を眺めることができます。

## 出島沖地区

- 現在埋立工事中で大規模な緑地が計画されています。

## ●弱み

### 宇品・出島地区全体

- ・ 魅力的な資源は多くあるものの、点在しておりスポット毎の魅力にとどまっています。
- ・ 宇品・出島地区の魅力に関する積極的な情報発信が少なく、認知度が低い状況です。
- ・ 徒歩や自転車で快適に回遊できるプロムナードは、未整備の区間があります。

### 宇品中央地区～御幸松地区

- ・ 宇品波止場公園は、休日や大型イベント開催時以外の利用者が限定的です。
- ・ 宇品中央地区では、イベント開催時に駐車場が混雑します。
- ・ 宇品中央地区の商業施設（宇品デポルトピア）は、休日の利用者が多く、周辺道路の混雑が発生しています。
- ・ 一方、宇品波止場公園駐車場の利用率は低い状況です。
- ・ 宇品中央地区まで行ける公共交通機関の路線がありません。
- ・ 御幸松地区の宇品御幸松広場は、休日に開催されるフリーマーケットの利用に留まっています。



宇品波止場公園（イベント非開催時）



宇品御幸松広場（利用が少ない）

### 宇品内港地区

- ・ 宇品旅客ターミナルと旧宇品旅客ターミナル、広島みなと公園、広島南道路北側市街地の商業施設を有機的に利用できる仕組みが不十分です。
- ・ 宇品旅客ターミナルにはテナントスペースがありますが、入店していない区画があります。
- ・ イベント開催時には、広島みなと公園駐車場が混雑します。

### 出島東地区

- ・ 広島国際フェリーポートを利用する航路は、運航休止中です。



広島国際フェリーポート（休止中）

### 出島沖地区

- ・ 埋立工事中で利用できるまでには一定の期間を要します。
- ・ 人の往来が多い宇品内港地区から距離があります。

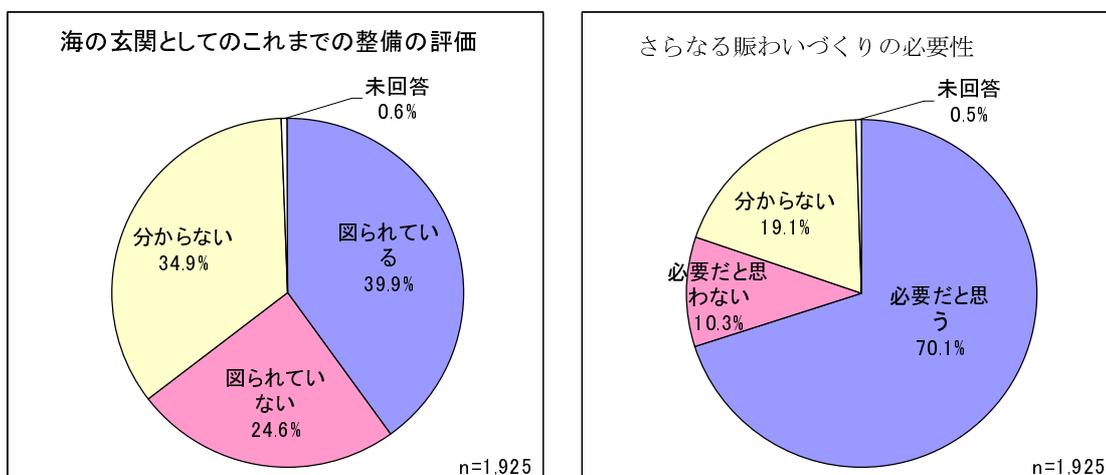


## 2 宇品・出島地区の利用者，住民の意向

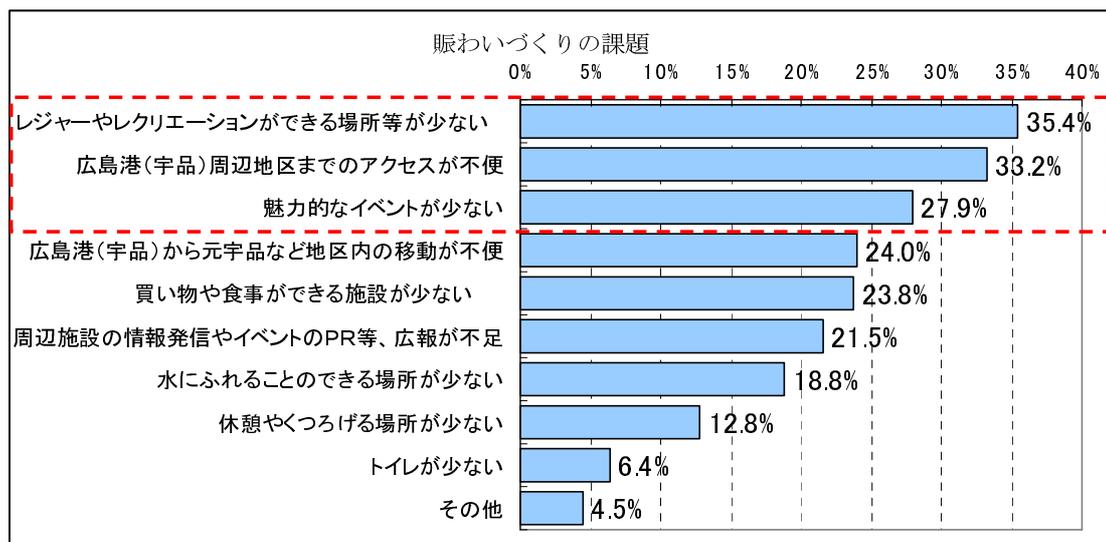
### (1) 広島港(宇品)周辺地区の賑わいづくりに関するアンケート

- ア 実施日 平成22年10月
- イ 実施者 広島市
- ウ 対象 地区の利用者等
- エ 目的 自転車を核としたまちづくりの検討資料

- ・ 4割以上が「海の玄関口整備」が図られていると評価しているものの，7割以上が「さらなる賑わいづくり」が必要と回答しており，一層の賑わいづくりが期待されています。



- ・ 賑わいづくりの課題として，「レジャーやレクリエーションができる場所等が少ない」「広島港（宇品）周辺地区までのアクセスが不便」「魅力的なイベントが少ない」と回答している人が多く，その改善が求められます。



※回答数 1,925 人 (複数回答あり)

- ・ 地区内を移動する適した手段は，施設利用者や住民では「自転車」との回答が多く，自転車の利用環境改善が期待されています。

## (2) 宇品・出島地区の利用に関するアンケート

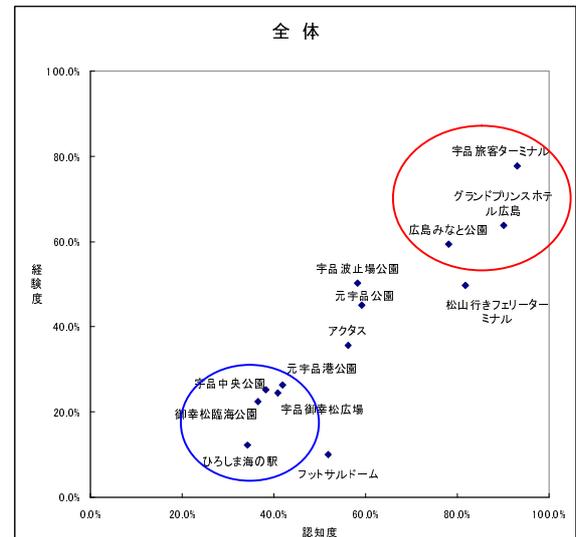
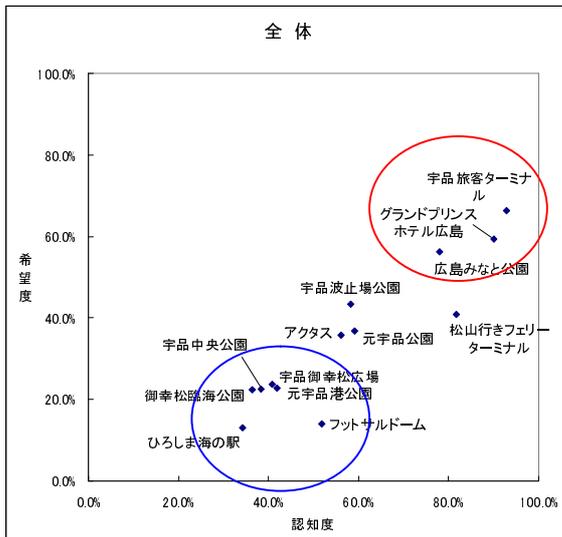
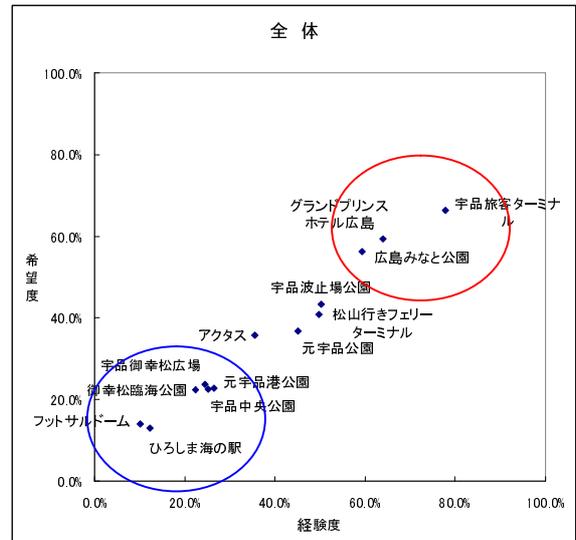
ア 実施日 平成 23 年 3 月

イ 実施者 広島県

ウ 対象 地区の利用者

エ 目的 地区の施設別の「経験度」「希望度」「認知度」等の把握

- ・ 認知度が高い施設は、概ね希望度と経験度も高くなっており「宇品旅客ターミナル」「グランドプリンスホテル広島」「広島みなと公園」がそれぞれ高い値を示しています。認知度を上げることで、利用意向が高まり、利用増につながると期待されます。



- ・ 多くの利用者（利用経験者）は、ひとつの施設のみを訪れており複数の施設を回遊していません。各地区を結ぶプロムナードの充実や施設の魅力を向上させることで、回遊性が高まり、新たな賑わいが創られると考えられます。

主な施設の利用者数（利用経験者）		複数施設を訪問している人数等（主なもの）		
施設の名称	利用経験者数	施設の名称	利用経験者数	利用者に対する割合
宇品旅客ターミナル	410 人	宇品旅客ターミナル ～広島みなと公園	34 人	5.0%
グランドプリンスホテル広島	336 人	広島みなと公園 ～元宇品公園	17 人	3.3%
広島みなと公園	306 人	広島みなと公園 ～宇品波止場公園	14 人	2.6%
旧宇品旅客ターミナル	257 人	広島みなと公園 ～アクタス広島店	14 人	3.0%
宇品波止場公園	257 人	グランドプリンスホテル広島 ～元宇品公園	12 人	2.2%
元宇品公園	229 人			
アクタス広島店	178 人			

※回答数 491 人（複数回答あり）

- ・ 目的別利用者の集計の特徴的な結果としては、「宇品デポルトピア」において若年層（20～30代）が、ショッピング等としての利用、宇品旅客ターミナルにおいて、各年代にわたってビジネス利用、各公園において、各年代にわたり、ひとり、又は家族で散歩・ウォーキングの利用、グランドプリンスホテル周辺の施設において、食事・買い物の利用が多いことがわかりました。

目的別の利用者数（利用経験者）									(単位：人)			
施設の名称	10代以下				20～30代							
	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス				
広島みなと公園	2	1		1	65	42	1	3				
宇品旅客ターミナル		1		11	11	6	10	164				
宇品御幸松広場 御幸松臨海公園					30	2	5	2				
宇品デポルトピア（宇品 中央臨海公園・宇品波止 場公園・アクタス広島店		3			61	35	64	6				
元宇品公園 元宇品港公園	2				51	16		1				
グランドプリンス ホテル広島等		2	4		10	36	73	4				

施設の名称	40～50代				60代以上			
	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス
広島みなと公園	54	22		1	75	21		2
宇品旅客ターミナル	13	14	4	152	37	13	14	142
宇品御幸松広場 御幸松臨海公園	40	13	7	5	69	14	12	2
宇品デポルトピア（宇品 中央臨海公園・宇品波止 場公園・アクタス広島店	64	34	29	6	125	40	17	1
元宇品公園 元宇品港公園	61	22		2	110	28		1
グランドプリンス ホテル広島等	22	26	56	11	32	26	72	6

※グランドプリンスホテル広島等：  
・グランドプリンスホテル広島・フットサルドーム・ひろしま海の駅

※回答数 491人（複数回答あり）

### (3) 学生によるみなと活用ワークショップ 2011

ア 実施日 平成23年7月

イ 実施者 4大学（比治山大学・広島市立大学・広島工業大学・広島女学院大学）、  
「みなとオアシス広島」運営協議会

ウ 目的 みなとの活性化に向けた関係機関への提言

- ・ 宇品・出島地区の賑わいづくりのために、学生の方から次の提案がありました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>- 地区の歴史、海辺の自然、遊びなどの学びの場としての活用が有効</li> <li>- 海際を広い通路と魅力施設でつなぎ、移動自体が楽しくなる仕掛けが必要</li> <li>- 統一したコンセプトが必要</li> <li>- 既存の施設の使い方を見直し、新たな利用者呼び込むことが必要</li> <li>- 親子で楽しめるスペースの充実 など</li> </ul>
---

### 3 関連計画から求められること

#### ◇「瀬戸内 海の道構想」(平成 23 年 3 月中間報告, 広島県)

- ・ この構想は、これまで十分に活用されてこなかった地域資源を発掘し、磨き、広域的につなぐことにより瀬戸内ブランドの向上を図り、消費や経済波及効果の増大及び雇用の促進等結びつけることを狙いとしています。
- ・ 構想の推進にあたり、瀬戸内の特徴的な強みとして、「多島美景観・まちなみ景観」、「地域に根ざした文化・芸術・産業」、「独特の食材・農林水産物」の3つのサブブランドと戦略テーマを定め、地域が一体となって中長期的にプロジェクトを展開することとしています。
- ・ 7つの戦略テーマのうち、広島港では、「船と航路とみなと賑わい」を中心に、「瀬戸内 サイクリングロード」、「瀬戸内 食のトップブランド」にも関わって行ける可能性があります。

#### (広島港に関わる戦略テーマとそのねらい)

戦略テーマ	ねらい
船と航路と みなと賑わい	瀬戸内ブランドのシンボル商品として、クルーズやボートなどによる多島美を生かす船旅と上陸ポイント(寄港地)の賑わいづくりを進め、発信していきます。
瀬戸内 サイクリングロード	サイクリングという移動手段を、瀬戸内の地域特性を生かして観光資源として活用することで、新たな集客・交流を図ります。
瀬戸内 食のトップブランド	カキや柑橘類など瀬戸内の特徴的な農林水産物・食文化を提供する場の広域展開やプロモーション、商品開発等を通じて、食資源の付加価値化と農山漁村地域の活性化を図ります。

#### ◇「広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画」(平成 21 年 9 月改正, 広島市・廿日市市・岩国市・大竹市・和木町・呉市・江田島市・熊野町・坂町・海田町・柳井市・周防大島町)

- ・ 平和の象徴「原爆ドーム」、世界に平和を発信する「平和記念公園」、日本三景・「宮島」、日本三名橋・「岩国錦帯橋」という優れた資源を有し、JRやバス等公共交通で1~2時間圏内という距離的にも至便な位置関係にあるため、広島・宮島・岩国地域で観光圏を形成し、必要な整備等を進めることとしています。

#### (基本的な方針)

- ・ 本物志向の強い大都市圏のシニア世代や欧米からの外国人観光客を主なターゲットに、「滞在型」観光イメージの創出より、国際競争力のあるワンランク上の観光地域を目指します。

#### (その他市町村及び都道府県が必要と認める事項)

- ・ 観光客の「エントランスゾーン」となる交通拠点施設及びその周辺の魅力づくりや整備等を進め、都市機能と観光アクセス、観光圏内の交流・連携の強化を図ります。
- ・ 「水の都ひろしま」推進計画を着実に実施するため、河岸緑地などの整備に加え、水辺の利活用の促進や景観の向上を図り、観光客に快適で魅力的な「水の都」を目指します。
- ・ 瀬戸内海が有する歴史・文化・景観の魅力を活かすため、多様な主体の参加・連携により、瀬戸内海の環境創造、瀬戸内の魅力発信などを行います。また、老朽施設の改修などにより、観光圏内外の海上交通ネットワークの強化を図ります。

#### ◇「水の都ひろしま構想」（平成 15 年 1 月策定， 国土交通省・広島県・広島市）

- ・ 太田川と瀬戸内海の存在は、広島市の大きな個性であり、また快適な環境の源となっています。その魅力をより一層引き出すためには、「水の都」づくりという方向で市民・企業・行政それぞれの努力を計画的に結集していく必要があります。
- ・ そのため、「水辺等における都市の楽しみ方の創出」、「都市観光の主要な舞台づくり」、「『水の都ひろしま』にふさわしい個性と魅力ある風景づくり」を目的に、「水の都ひろしま」構想を策定しています。

#### ◇みなとオアシス広島（平成 23 年 3 月暫定供用， 広島市）

- ・ 「みなとオアシス」は、みなとの「にぎわい」創出を目的に、市民等が旅客ターミナルや緑地等の港湾施設を地域交流拠点として活用しやすくする国の制度で、国が認定・登録したところには様々な支援が行われています。
- ・ 広島市では、「みなと」を活用した各種イベントの実施などで、年間を通じた賑わいの創出を図るため、広島港宇品・元宇品・吉島地区をエリアとする「みなとオアシス広島」について申請を行い、平成 23 年 3 月 18 日に国土交通省中国地方整備局から仮登録を受けました。
- ・ 「みなとオアシス広島」では、広島港宇品旅客ターミナルや公園などの港の施設やスペースを活用して色々なイベントや情報発信を行って交流の場を提供し、多くの市民や来訪者が集まり、にぎわう魅力的な「みなと」づくりを進めることが求められています。

#### ◇南区宇品・似島地区まちづくり構想（平成 20 年 12 月提案， 地域住民の方等）

- ・ 広島市では、「地区別まちづくりワークショップ」を開催し、地区の課題や地域資源、まちづくりのアイデアや意見を出し合い、とりまとめています。
- ・ 宇品中央地区から宇品内港地区にかけて魅力を高める取組を行い、既存回遊ルートと連携したポートサイドプロムナード整備を進めることが求められています。



#### 4 歴史から読み取れること

- ・ 広島は、川や海、みなとと深い関連があります。市街地の大部分は、太田川から運ばれた土砂の堆積や海の埋立によりつくられた土地の上に形成されています。また、川や海につくられたみなとは、各時代の要請に伴いその姿を変えており、いつの時代においても市民生活や経済活動等に対して重要な役割を果たしています。

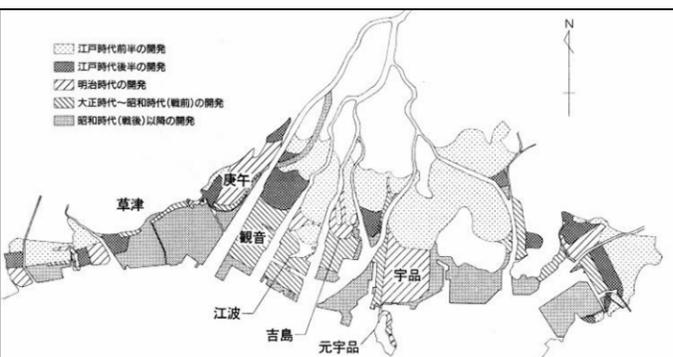
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 現在の市街地はほとんど海中でした。</li> <li>◇ 当時の海岸線には縄文時代や弥生時代の遺跡（貝塚）、太田川流域には古墳（豪族の生活基盤・経済基盤）が残ります。</li> <li>◇ 平安時代中頃には都と大宰府を結ぶ古代山陽道沿いに村が発展しました。</li> <li>◇ 11～12 世紀頃には年貢を集積し船に積込む倉敷地が河口付近に設けられました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 太田川によって運ばれた土砂が堆積し、デルタを形成しました。</li> <li>◇ 承久の乱（1221 年）後、新たに安芸国守護職となった武田氏は銀山城（安佐南区）に本拠をおきました。</li> <li>◇ 守護職を追われた武田氏は太田川流域を支配する分郡守護として復活しました。</li> <li>◇ 武田氏滅亡後、毛利氏が勢力を伸ばし、112 万石の大名となりました。</li> <li>◇ 広大な領地経営の中心は吉田郡山城（安芸高田市）でしたが、軍事・政治・経済等あらゆる面で、海陸交通の要衝の地に移す必要が生じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1589 年、毛利輝元は五ヶ村といわれた太田川デルタの上に築城、「広島」と命名し、城下町を建設しました。</li> <li>◇ 関ヶ原の戦後、福島氏が芸備の領主となり、引き続き城下町を拡張・整備しました。</li> <li>◇ 江戸時代には、浅野氏が領主となり、広島城下の南方の干潟を次々と干拓し、江戸・大阪・京都・名古屋・金沢に次ぐ大都市となりました。</li> <li>◇ 内海航路沿いの最大都市として、他国船でにぎわいました。</li> <li>◇ 広島湾では、海苔・かき等が生産され、広島城下に集められたのち、上方へ積み出されました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1889 年、広島は全国で最初の市の一つとして市制を施行しました。</li> <li>◇ 同年、千田県令により旧宇品港の築港工事が完成しました。</li> <li>◇ 皆実新開以南、宇品島に至る青海原は広大な陸地となりました。</li> <li>◇ 1894 年、日清戦争が始まると、広島－宇品間の軍用鉄道（宇品線）が開通し、旧宇品港から多くの兵士・兵器・食料が大陸に送り出されました。</li> <li>◇ 相次ぐ軍事施設の設置に伴い都市施設が整備され、中でも城濠の埋立は一部に電車軌道が敷設される等、都市の景観を大きく変貌させました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1929 年、産業博覧会の開催</li> <li>◇ 1932 年、旧宇品港は広島港と名を改め、工業港建設と埋立地を臨海工業地帯とする修築工事が始まりました。</li> <li>◇ 1945 年 8 月 6 日、原爆被災。</li> <li>◇ 宇品地区は爆心地から 3km 以上隔たった「半壊地区」とされたものの比較的被害が軽微であり、宇品に駐屯していた陸軍船舶司令部は被爆直後から市街地中心部での救援活動に中心的役割を果たしました。</li> </ul>
---	--	---	---	--



資料：『しろうや！広島城 No. 22』財団法人広島市文化財団



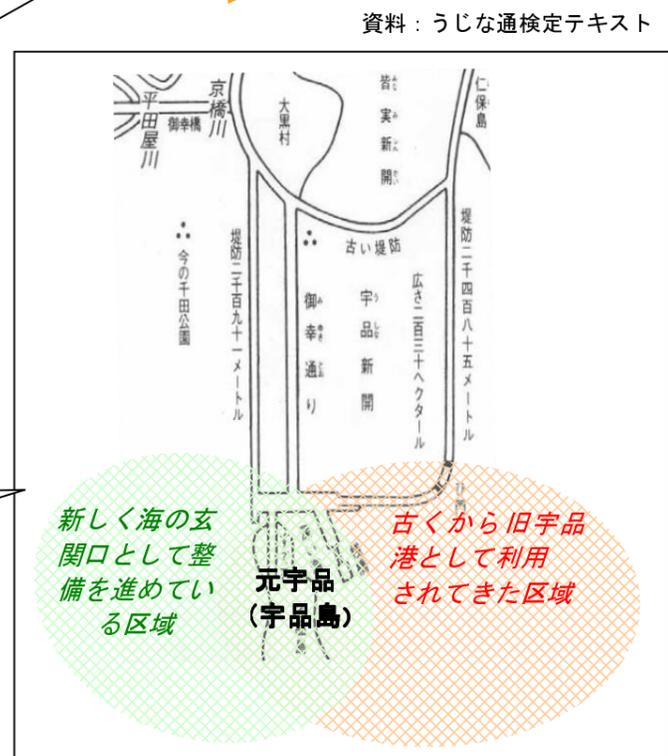
資料：『しろうや！広島城 No. 22』財団法人広島市文化財団



資料：広島市公文書館所蔵

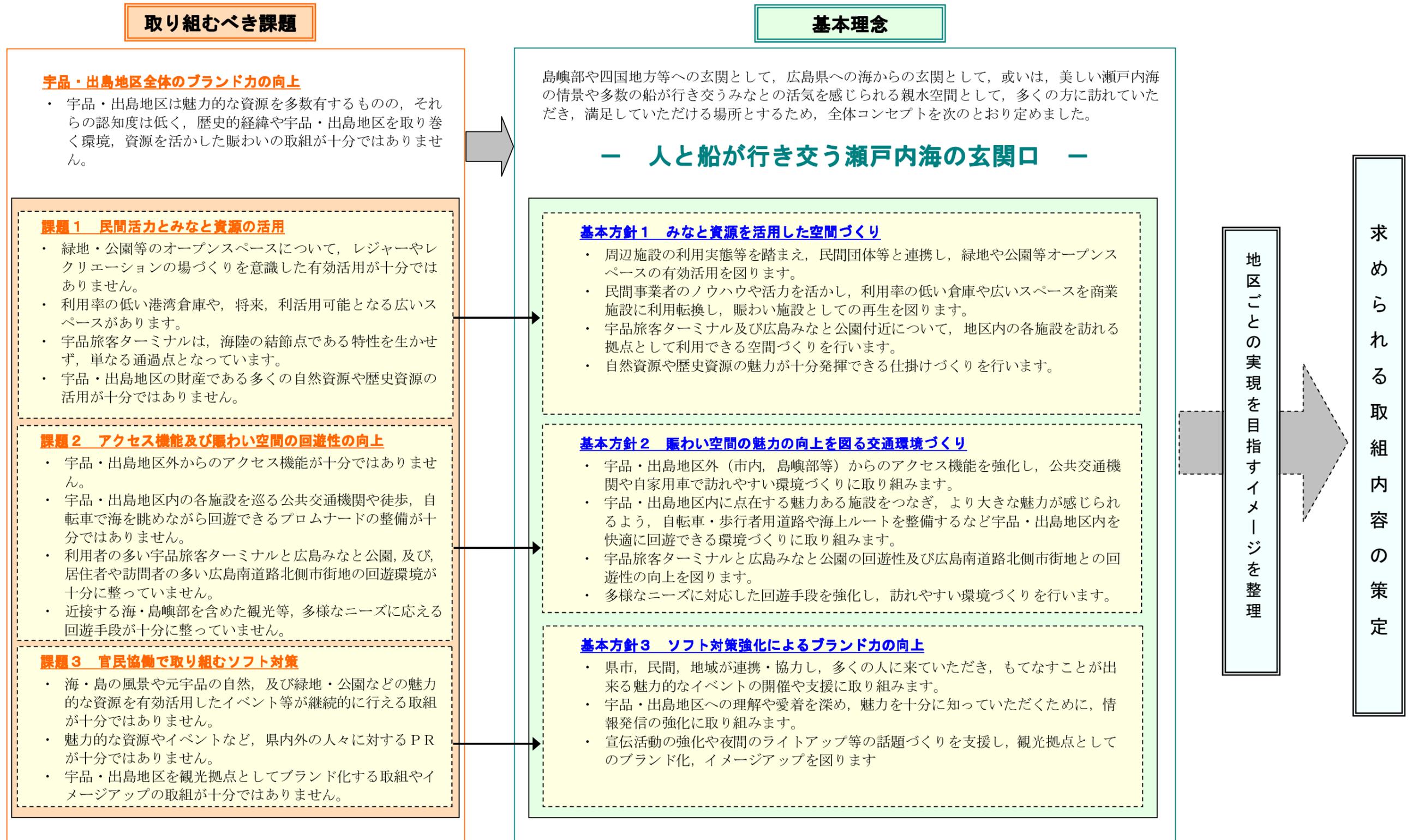
◇ 現在の広島港には、国内外からの貨物を積み降ろしする岸壁・クレーンといった港湾物流施設や、フェリー・旅客ターミナルといった旅客施設など、直接みなとを利用するための施設だけでなく、マリンスポーツを楽しむためのマリーナ施設や、海辺の憩いと潤いを与える公園などの施設が整備されています。

◇ 歴史的な経緯を踏まえて、元宇品を中心として、東側は、「古くから旧宇品港として利用されてきた区域」、西側は、「新しく海の玄関口として整備を進めている区域」にみなとの特性を整理できます。



### Ⅲ 賑わい創出の基本理念

宇品・出島地区の現況を踏まえ、賑わいづくりに向けて取り組むべき課題を定め、その実現に向けた取組の基本理念（全体コンセプトと基本方針）を次のとおり定めました。



(参考) みなと資源の例

自然資源



多島美景観（波止場公園からの眺望）



瀬戸内海に沈む夕日（元宇品地区）（※）



自然海岸（元宇品地区）（※）



原生林（元宇品地区）

歴史資源



旧広島水上警察署跡



唱歌「港」の記念碑



旧陸軍運輸部の碑

公園・緑地



クルーズ船の寄港  
（宇品波止場公園）



帆船の寄港（宇品波止場公園）



広島みなと公園（※）

旅客施設



宇品旅客ターミナル（※）



旧宇品旅客ターミナル

倉庫の再生



商業施設としての利用  
（旧宇品5号上屋）

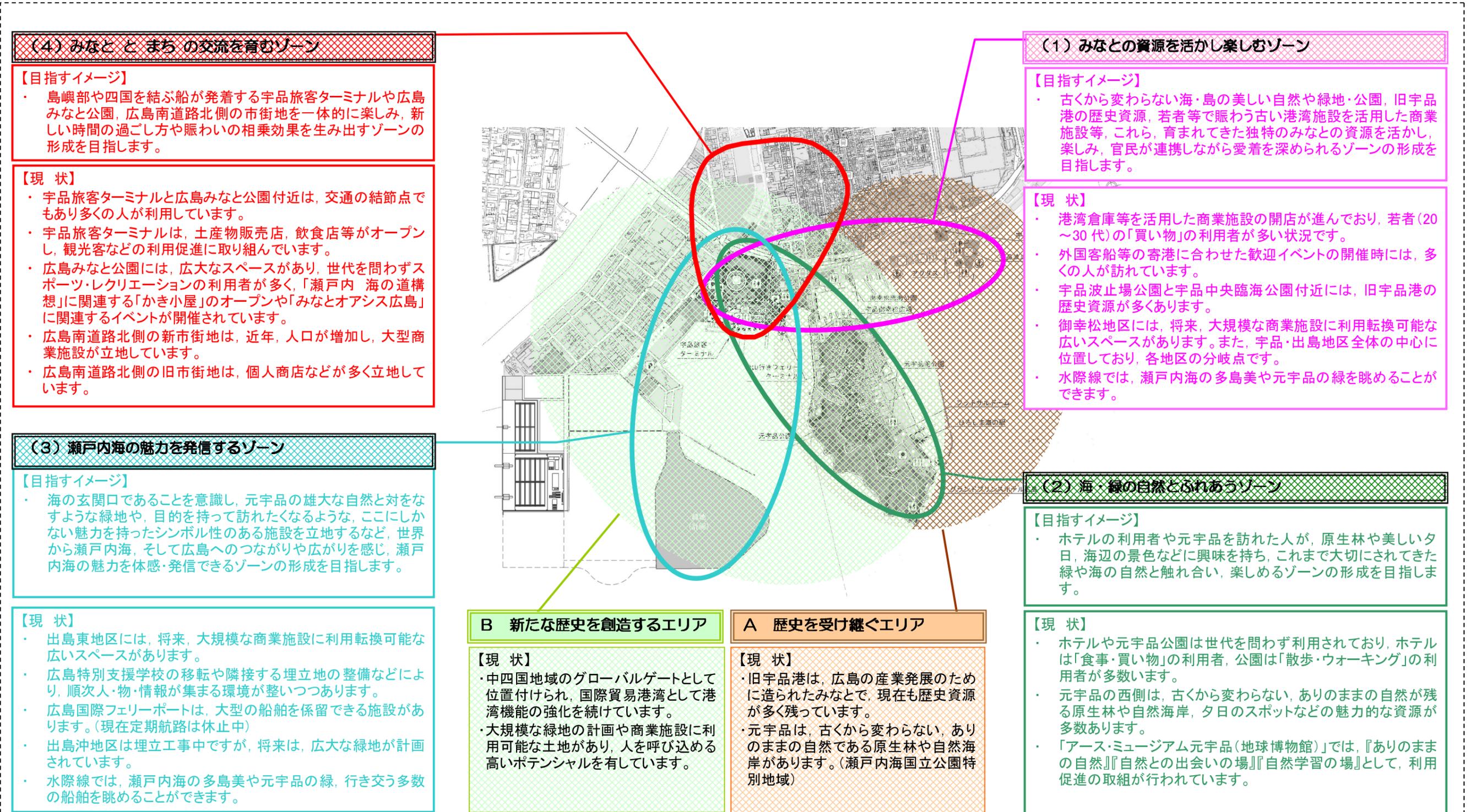
※うじな検定テキストより

## IV 実現を目指すイメージ

基本理念を踏まえ、求められる取組内容を策定するために、実現を目指すイメージを定めました。

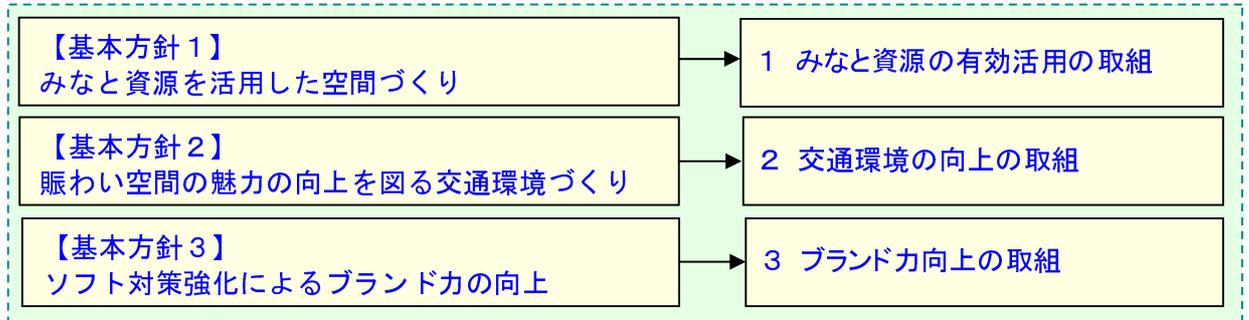
宇品・出島地区の『歴史』を踏まえた大きなエリア設定を行った上で、各地区の「現状」やアンケート調査等から把握した「利用者像」や「利用方法」に加え、資源を活かすことに留意し、「ゾーン」を設定しました。

なお、宇品内港地区は、海陸の玄関口であり、各ゾーンの結節点として全てのゾーンに組み入れました。



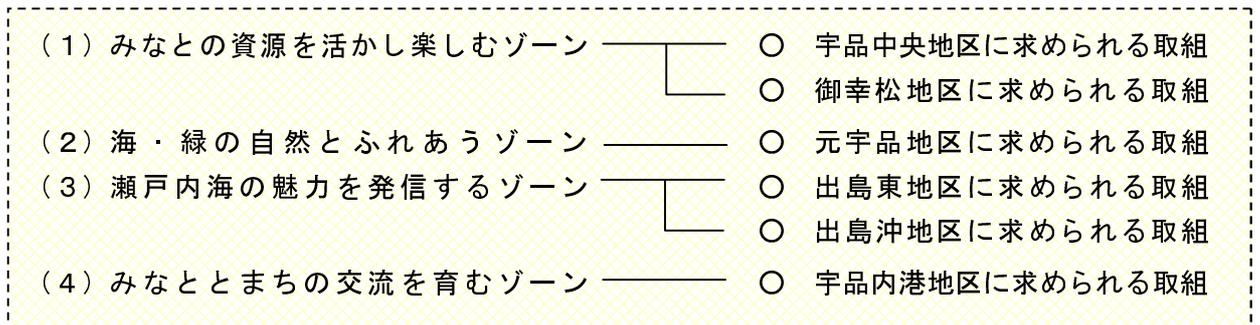
## V 求められる取組

設定したゾーンの目指すイメージを実現し、多くの人を呼び込み、賑わいづくりに役立てるため適切な役割分担を行い、基本方針に対応した求められる取組を定めます。



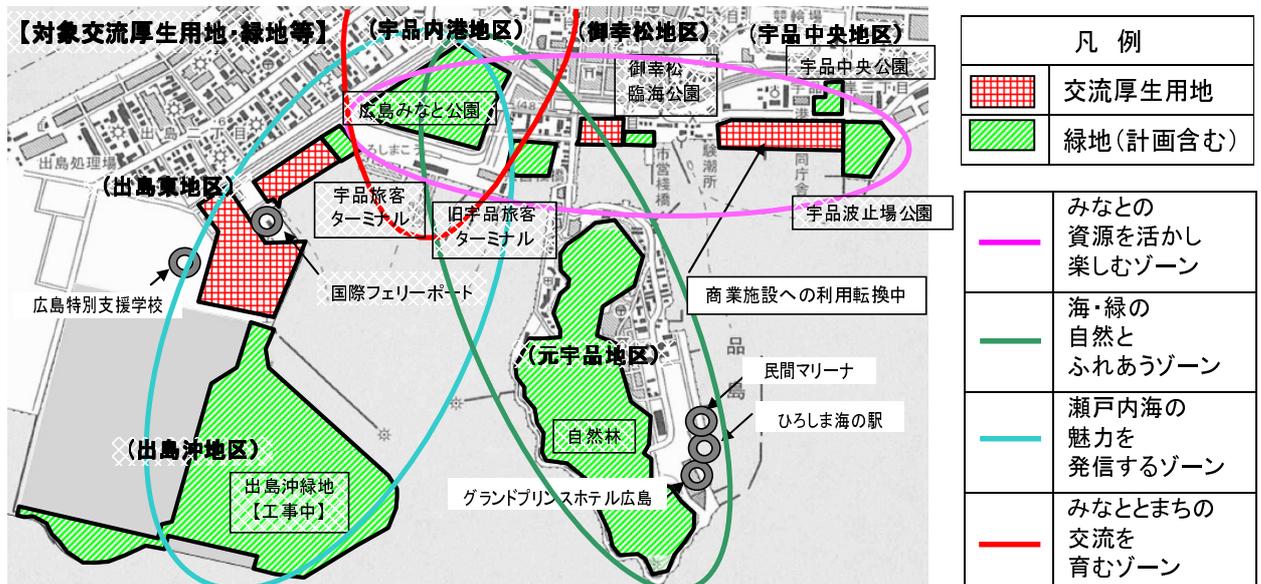
### 1 みなと資源の有効活用の取組

宇品・出島地区には、緑地・公園、旅客施設などの港湾施設、港湾倉庫等を利用転換した商業施設、瀬戸内海の美しい景観や原生林、自然海岸等の自然資源、史実を伝える歴史資源等、多くの魅力的なみなと資源があります。これらを有効活用するために行う空間づくりに求められる取組をゾーンの目指すイメージに基づき定めます。



※宇品内港地区は全てのゾーンに含まれますが、取組は、「みなととまちの交流を育むゾーン」に記載します。

[広島港湾計画(関係箇所のみ抜粋)] ・緑地の計画等(H11.3 変更) ・交流厚生用地の計画等(H22.12 変更)



※交流厚生用地：商業施設等に利用できる港湾計画上の土地利用区分

## (1) みなとの資源を活かし楽しむゾーン

### 【目指すイメージ】 (再掲)

- ・ 古くから変わらない海・島の美しい自然や緑地・公園，旧宇品港の歴史資源，若者等で賑わう古い港湾施設を活用した商業施設等，これら，育まれてきた独特のみなとの資源を活かし，楽しみ，官民が連携しながら愛着を深められるゾーンの形成を目指します。

### 【現 状】(再掲)

- ・ 港湾倉庫等を活用した商業施設の開店が進んでおり，若者（20～30代）の「買い物」の利用者が多い状況です。
- ・ 外国客船等の寄港に合わせた歓迎イベントの開催時には，多くの人を訪れています。
- ・ 宇品波止場公園と宇品中央公園付近には，旧宇品港の歴史資源が多くあります。
- ・ 御幸松地区には，将来，大規模な商業施設に利用転換可能な広いスペースがあります。また，宇品・出島地区全体の中心に位置しており，各地区の分岐点です。
- ・ 水際線では，瀬戸内海の多島美や元宇品の緑を眺めることができます。

### ①宇品中央地区に求められる取組

- ・ 多くのイベントが開催されている宇品波止場公園と若者の利用が増えている商業施設の連携により相乗効果を生み出す仕組みづくり
- ・ 元宇品の自然や瀬戸内海の風景など，みなとの良さを感じながら，海を普段着で楽しみ，ここにしかない感動を与えられる空間としての利用
- ・ みなとの歴史に対する認識が広がる場所として，旧宇品港の数多くの歴史資源の有効利用やPR



人を集めるイベント等の場としての利用等，緑地の有効活用(宇品波止場公園)



倉庫等を商業施設に利用転換し，賑わいの場としての利用促進(宇品デポルトピア)



歴史資源の有効利用(宇品中央公園)

### 【取組の例】

- ・ 港湾倉庫や港湾用地の商業施設への利用転換
- ・ パラダイスの塔，インフォメーションセンター等の有効活用
- ・ 休憩施設，展望施設の設置
- ・ 歴史資源の案内版の設置など

## ②御幸松地区に求められる取組

- ・ 散策途中に休憩でき、次の目的地を探すための情報が提供できる場所づくり
- ・ 元宇品の自然資源の眺望やみなとの特色を活かした商業施設等の誘致による、海を普段着で楽しみ、ここにしかない感動を与えられる空間としての利用



散策途中の休憩場所としての利用促進(横浜市・山下公園)



情報が提供できる場所づくり(横浜市・山下公園)



みなとの特色を活かした商業施設の誘致(神戸市・mosaic)

### 【取組の例】

- ・ 御幸松臨海公園にベンチやパーゴラ等の休憩施設や周辺の情報を提供する案内施設を設置
- ・ みなとの特色を活かした商業施設の誘致  
など

## (2) 海・緑の自然とふれあうゾーン

### 【目指すイメージ】(再掲)

- ・ ホテルの利用者や元宇品を訪れた人が、原生林や美しい夕日、海辺の景色などに興味を持ち、これまで大切にされてきた緑や海の自然と触れ合い、楽しめるゾーンの形成を目指します。

### 【現 状】(再掲)

- ・ ホテルや元宇品公園は世代を問わず利用されており、ホテルは「食事・買い物」の利用者、公園は「散歩・ウォーキング」の利用者が多い状況です。
- ・ 元宇品の西側は、古くから変わらない、ありのままの自然が残る原生林や自然海岸、夕日のスポットなどの魅力的な資源が多数あります。
- ・ 「アース・ミュージアム元宇品(地球博物館)」では、『ありのままの自然』『自然との出会いの場』『自然学習の場』として、利用促進の取組が行われています。

## ○元宇品地区に求められる取組

- ・ 原生林や自然海岸、海に沈む美しい夕日など、数多くある自然資源のPRによる地区への誘導促進
- ・ 広島市などが取り組んでいる「アース・ミュージアム元宇品(地球博物館)」の支援
- ・ 原生林や自然海岸などの自然資源を通じた「学習」の場所としての利用促進



自然資源の利用・PR[原生林, 自然海岸](元宇品地区)



自然資源の利用・PR[海に沈む夕日]  
※船から見る風景 100 選 ベストショット賞受賞  
広島港(宇品港)[平成 20 年 7 月]  
宇品～切串航路(株)ファーストビーチ



アース・ミュージアム元宇品の支援[伐採, 枝打の取組](広島市)

### 【取組の例】

- ・ 散策ルート上での案内板の設置
- ・ 「アース・ミュージアム元宇品(地球博物館)」の支援
- ・ 動植物の観察や環境学習の実施
- ・ 海水に触れられる空間づくりなど

### (3) 瀬戸内海の魅力を発信するゾーン

#### 【目指すイメージ】(再掲)

- ・ 海の玄関口であることを意識し、元宇品の雄大な自然と対をなすような緑地や、目的を持って訪れたいくなるような、ここにしかない魅力を持ったシンボル性のある施設を立地するなど、世界から瀬戸内海、そして広島へのつながりや広がりを感じ、瀬戸内海の魅力を体感・発信できるゾーンの形成を目指します。

#### 【現 状】(再掲)

- ・ 出島東地区には、将来、大規模な商業施設に利用転換可能な広いスペースがあります。
- ・ 広島特別支援学校の移転や隣接する埋立地の整備などにより、順次、人・物・情報が集まる環境が整います。
- ・ 広島国際フェリーポートは、大型の船舶を係留できる施設があります。(現在定期航路休止中)
- ・ 出島沖地区は埋立工事中ですが、将来は、広大な緑地が計画されています。
- ・ 水際線では、瀬戸内海の多島美や元宇品の緑、行き交う多数の船舶を眺めることができます。

#### ①出島東地区に求められる取組

- ・ 大型船舶が係留できる特性を活かし、船を活用した商業施設や文化施設など、世界から瀬戸内海、そして広島へのつながりが感じられる空間としての利用
- ・ 元宇品の雄大な自然や宇品旅客ターミナルに出入りする船舶を眺望できる特性を活かした商業施設や文化施設等、シンボル性のある施設の誘致、目的を持って訪れたいくなる空間としての利用



船舶を係留し、レストランや文化施設として利用(東京港)



瀬戸内海の魚介類販売施設の誘致(下関市・唐戸市場)

#### 【取組の例】

- ・ 遊覧船や船上レストランの誘致
- ・ 瀬戸内海の魚介類販売施設や飲食店の誘致
- ・ 病院船の発着基地など、医療拠点としての利用
- ・ 瀬戸内海の文化を発信する施設の誘致
- ・ シンボル性のある施設 (スポーツ施設・水族館等) の誘致  
など

## ②出島沖地区に求められる取組

- ・ 瀬戸内海の玄関口である特性を活かし，世界から瀬戸内海，そして広島への繋がりや広がりを感じられる，シンボル性のある施設づくり
- ・ 海上から広島港への出入り時に，対岸の元宇品の原生林との相乗効果により，緑のゲートをくぐるような印象を与える豊かな緑空間づくり
- ・ 新たに整備される広島特別支援学校等と連携した「学習」の場所としての利用促進



シンボル性のある施設づくり(青森県・青い海公園)



植樹による豊かな緑を育成(広島県)



環境学習の場としての利用促進[清掃活動](東京都・若洲海浜公園)

### 【取組の例】

- ・ 広島港の玄関を形成するモニュメントや文化施設（瀬戸内海ミュージアムなど）の誘致
- ・ 元宇品と対をなす，ボリューム感のある緑の広場整備
- ・ 海に関わる動植物や海そのものの観察や環境学習の場（魚に餌をやり，海藻を育てる場など）など

#### (4) みなととまち の交流を育むゾーン

##### 【目指すイメージ】(再掲)

- ・ 島嶼部や四国を結ぶ船が発着する宇品旅客ターミナルや広島みなと公園、広島南道路北側の市街地を一体的に楽しみ、新しい時間の過ごし方や賑わいの相乗効果を生み出すゾーンの形成を目指します。

##### 【現 状】(再掲)

- ・ 宇品旅客ターミナルと広島みなと公園付近は、交通の結節点でもあり多くの人が利用しています。
- ・ 宇品旅客ターミナルは、土産物販売店や飲食店がオープンし、観光客などの利用促進に取り組んでいます。
- ・ 広島みなと公園には、広大なスペースがあり、世代を問わずスポーツ・レクリエーションの利用者が多く、「瀬戸内 海の道構想」に関連する「かき小屋」のオープンや「みなとオアシス広島」に関連するイベントが開催されています。
- ・ 広島南道路北側の新市街地は、近年、人口が増加し、大型商業施設が立地しています。
- ・ 広島南道路北側の旧市街地は、個人商店などが多く立地しています。

#### ○宇品内港地区に求められる取組

- ・ 宇品旅客ターミナル及び広島みなと公園付近について、宇品・出島地区の各施設を訪れる拠点として利用できる空間づくり
- ・ 広島南道路北側市街地や島嶼部等からの訪問者を増加させる仕組みづくり。
- ・ 利用者や社会のニーズにあった施設の運営や活用による、日常利用の活性化の促進



待ち合わせ場所の整備(広島駅前)



レンタサイクルポートの整備(広島市)



緑地・公園の日常利用の活性化促進(水鳥の浜公園)

##### 【取組の例】

- ・ 待ち合わせ場所、レンタサイクルポートの設置
- ・ 広島みなと公園北側入口の整備
- ・ 運動広場等としての利用促進など

## 2 交通環境の向上の取組

宇品・出島地区には、多くの魅力的なみなど資源がありますが、市街地からのアクセス機能が十分でないことや宇品・出島地区内を回遊できる交通環境整備の不足により、魅力が十分発揮できていません。そこで、これら交通環境の向上に求められる全ゾーン共通の取組を定めます。

### (1) 宇品・出島地区までのアクセス機能強化

- 陸上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組
- 海上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組

### (2) 宇品・出島地区内を快適に回遊する環境づくり

- 快適な回遊空間づくりに求められる取組
- 多様なニーズに対応した回遊手段の充実に求められる取組

### (1) 宇品・出島地区までのアクセス機能強化

#### 【現 状】

- ・ 宇品中央地区や出島東地区、出島沖地区には、公共交通機関の定期路線がなく、十分なアクセス機能が確保されていません。
- ・ 緑地・公園等で開催されるイベント時には駐車場が混雑しています。
- ・ 宇品旅客ターミナルでは、島嶼部や四国等に向けた旅客航路網が形成されており、船舶が数多く出入しています。
- ・ 広島港内の遊覧や宮島までの定期クルーズ船が運航しています。

#### ○陸上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組

- ・ 商業施設への利用転換等、賑わいづくりの取組に合わせたバスルートの定期路線の追加等の要請
- ・ イベントやコンベンション開催に合わせ、公共交通機関の臨時便運行等の要請
- ・ 路面電車やバスの停留所からアクセスの向上を図るため、地域と連携、協力し、案内サイン等を設置
- ・ 休日やイベント開催時など、宇品・出島地区に多くの来訪者がある時に対応できる適切な駐車場の確保
- ・ 駐車場利用に係る柔軟な運用や駐車場サービスの提供に関する検討

広電電車  
路線案内図



広島バス  
路線図



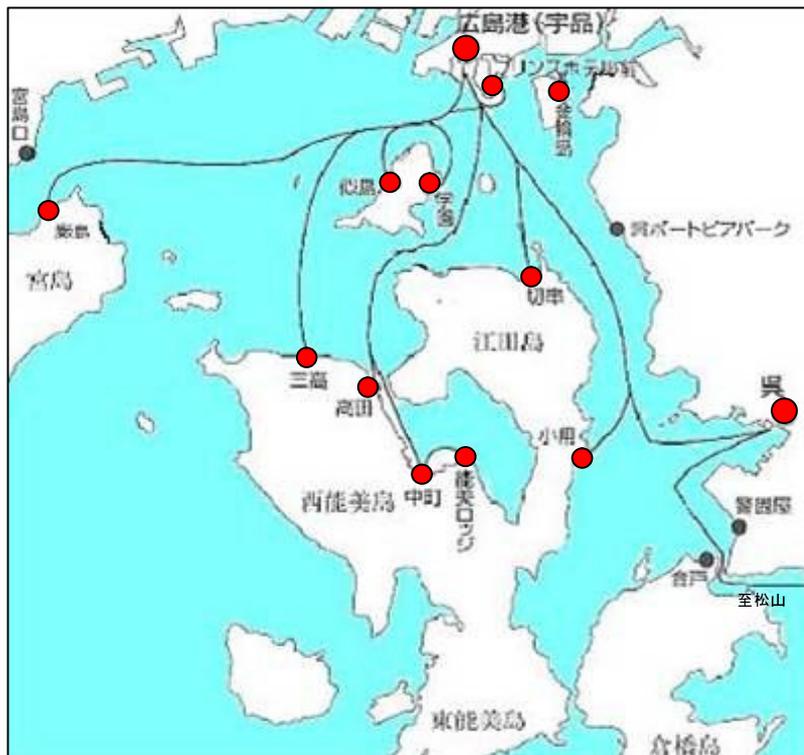
定期路線の追加の要請



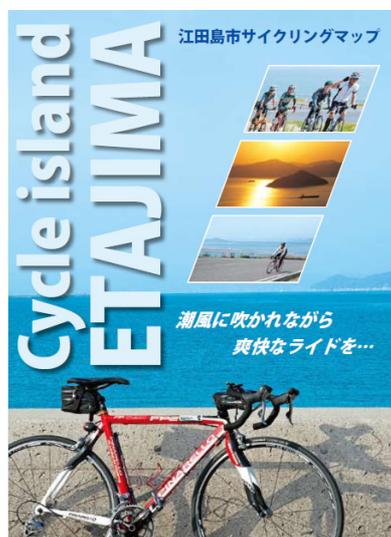
駐車場サービスの提供の検討 [周辺商業施設と連携した駐車サービス] (左: 浜松市, 右: 三島市)

## ○海上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組

- ・ 既存航路維持に向けた取組強化（PR強化，複数の交通手段利用の割引導入等）
- ・ サイクリングと連携した定期航路の利用促進（サイクルーズP A S S）
- ・ クルーズ船の誘致や近隣島嶼部の観光施策と連携した新たな航路の開発促進及び観光PR
- ・ 宇品旅客ターミナルや海の駅など，海に関連した施設の利用促進



既存航路の維持 [旅客航路網]  
(2012年4月1日現在)



定期航路の利用促進 [サイクリングとの連携・サイクリングマップ]  
] (江田島市)

## (2) 宇品・出島地区内を快適に回遊する環境づくり

### 【現 状】

- ・ 魅力的な回遊機能が不足しているため、宇品・出島地区の複数の施設を回遊する人は少数です。
- ・ 水際線を散策できるプロムナードに未整備区間が残っています。
- ・ 夜間に水際線を快適・安全に散策できる環境が整っていません。
- ・ 徒歩や自転車で快適・安全に回遊できる環境が整っていない箇所があります。
- ・ プロムナードの場所を分かり易く示す案内サインが整っていません。
- ・ 多くの人を利用する宇品旅客ターミナルは交通の結節点に留まっており、テナントや広島みなと公園を利用する人は少数です。
- ・ 広島南道路北側市街地は、近年市街化が進み、人口や商業施設が増加しています。

### ○快適な回遊空間づくりに求められる取組

- ・ 誰でも水際線を快適・安全に散策できる、連続性を持ったプロムナードの整備推進
- ・ 瀬戸内海の多島美、原生林、自然海岸等の自然資源や行き交う船舶を眺めることのできる環境づくり
- ・ プロムナードの路面のライトアップなど、夜間、快適・安全に散策を楽しむことのできる環境づくり
- ・ 歩行者・自転車の通行空間の分離により快適性、安全性の向上の推進
- ・ 統一した、分かりやすい案内サインの設置
- ・ 宇品旅客ターミナル利用者の宇品・出島地区内での滞在時間を増やし、賑わいづくりに繋げるため、宇品旅客ターミナルと広島みなと公園の回遊性を強化
- ・ 広島南道路で分断された広島南道路北側市街地の居住者や大型商業施設を訪れる人を広島みなと公園や宇品旅客ターミナル等に誘導する仕掛けづくり



プロムナードの整備推進(宇品デポルトピア)



夜間の快適性・安全性の向上推進[蓄光石によるライトアップ](大阪市)



眺望できる環境づくり[ベンチ](広島市)



快適性・安全性の向上推進[歩行者・自転車道の分離](高松市)



案内板・サインの設置(高松市)



案内板・サインの設置(横浜市)



広島南道路北側市街地の居住者や大型店を訪れる人を広島みなと公園に誘導するための仕掛けづくり[出入口の整備, 分かりやすい案内標示等]



施設間のアクセス機能の強化[ペデストリアンデッキの設置](福山市)

## ○多様なニーズに対応した回遊手段の充実に係る取組

- ・ 宇品・出島地区内のみなと資源を結ぶ循環バスやシャトル船による回遊手段の充実
- ・ レンタサイクルやサイクルーズP A S Sによる回遊性向上の環境づくり
- ・ 複数の公共交通機関の利用による割引サービス等の検討



海上交通による回遊性向上[シャトル船の運行]  
(大阪市)

レンタサイクルによる回遊性の向上[レンタサイクルシステム](グランドプリンスホテル  
広島) 資料:JTB 法人東京 WEB



レンタサイクルによる回遊性の向上[レンタサイク  
ルポートの整備](横浜市)

割引サービスの検討[りんかい線・ゆ  
りかもめ・水上バスの3社で利用でき  
る共通1日券](東京都)

### 3 ブランド力向上の取組

宇品・出島地区には、多くの魅力的なみなと資源がありますが、認知度が低い場所や施設が多くあるなど、魅力が十分に発信できていません。そこで、イベント開催の取組強化や情報発信の強化、イメージアップ等、ブランド力の向上に求められる全ゾーン共通の取組を定めます。

- |                 |   |                         |
|-----------------|---|-------------------------|
| (1) イベント開催の取組強化 | — | ○ イベント開催支援体制づくりに求められる取組 |
| (2) 情報発信の強化     | — | ○ 地区PR強化に求められる取組        |
| (3) イメージアップ     | — | ○ イメージアップに求められる取組       |

#### (1) イベント開催の取組強化

##### 【現 状】

- ・ 宇品・出島地区は、宇品波止場公園付近における「広島みなと夢花火大会」や「帆船フェスタひろしま」等のイベントや、広島みなと公園における「瀬戸内うまいものグランプリ」等のイベントが開催されており、多くの人を訪れています。
- ・ 広島市は、「みなとオアシス広島」の取組により、「みなと」の施設を交流の場として活用した市民のアイデアによる各種イベントの実施などによって、年間を通じた賑わいの創出に取り組んでいます。
- ・ 広島みなと公園では、冬から春にかけて「瀬戸内 海の道構想」に関連する『かき小屋』がオープンし、県内外から多くの人を訪れています。

##### ○イベント開催支援体制づくりに求められる取組

- ・ 多くの人に訪れてもらうために、縣市、民間、地域が適正な役割分担のもと、連携、協力して、より魅力的なイベントを開催
- ・ 民間等が行う魅力あるイベントや市民がみなとや海辺で行う活動に対する支援制度を検討
- ・ みなとの賑わいを演出する帆船等の寄港や、「瀬戸内 海の道構想」に基づく「瀬戸内ブランド」の構築に資するイベント等の実施を要請



イベントの開催[広島みなと夢花火大会](宇品波止場公園他)

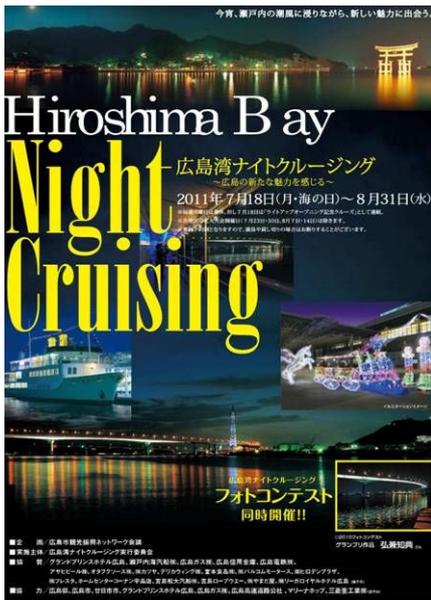


官民連携による助成活動[馬島きっずワークキャンプ](北九州市)

【まちづくり活動への支援例】

「みなとや海辺の活動支援」(助成制度)

市民がみなとや海辺で行う「環境美化活動」、「ワークショップなどのまちづくり活動」、「賑わいづくりのイベント開催」などの諸活動に対し、その活動費の一部について助成。



イベントの開催[広島湾ナイトクルージング](広島湾)



イベントの開催[クルーズ船の運航](広島湾他)  
資料:広島ベイクルーズ銀河 HP



民間活動の支援[みなとオアシス広島](広島みなと公園)



イベント開催の取組[(左)瀬戸内うまいもんぐらんぷり(右)かき小屋](広島みなと公園)



## (2) 情報発信の強化

### 【現 状】

- ・ 広島駅等の広域的な交通結節点の利用者や宇品・出島地区を訪れたことのない国内外の人々に対して、宇品・出島地区までのアクセスや地区の魅力について情報発信が不十分です。
- ・ 宇品・出島地区に関連する情報が、インターネット等により各機関から発信され、一元化されていないため、分かりにくい状況です。
- ・ 宇品・出島地区の魅力ある場所やイベント会場への誘導が不十分です。

### ○地区PRの強化に求められる取組

- ・ 広島駅や宇品旅客ターミナル等の主要ターミナルにおいて、観光案内所や案内看板により、宇品・出島地区までのアクセス情報や魅力ある場所、イベントの開催情報等を発信
- ・ 情報誌・フリーペーパー、インターネット（ポータルサイト）等により、宇品・出島地区までのアクセス情報や魅力ある場所、イベントの開催情報等を発信
- ・ 宇品・出島地区に関連する情報を発信している各機関のホームページの相互リンクや情報の一元化、多言語の対応
- ・ 公共交通機関（バス・電車）車内でのPR、案内放送、停留所における案内看板の設置、多言語の案内施設の設置等



案内板設置による情報発信の強化[施設の位置, 内容等の情報を提供する歩行者用案内板] (奈良市)



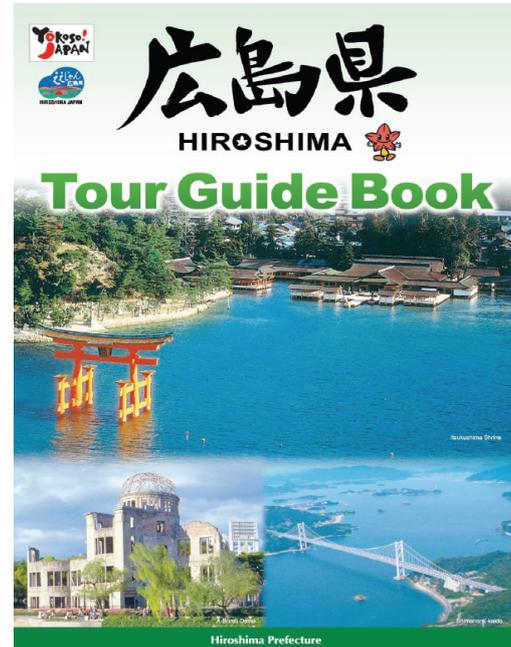
観光案内所での地区 PR の強化(宇品旅客ターミナル)



案内板設置による情報発信の強化[玄関口となる場所での地区のPR, 情報発信(横浜市)]



インターネットによる情報発信の推進[総合みなと情報の発信] (横浜港振興協会)



多言語の対応の推進[観光ガイドブック] (広島県)

### (3) イメージアップ

#### 【現 状】

- ・ 海の玄関口として施設整備が進んでいますが、今後は、賑わい空間としての活用が期待されています。
- ・ 宇品中央地区の倉庫を活用した商業施設と宇品波止場公園付近の愛称を「宇品デポルトピア (UJINA-DEP-PORTO-PIA)」と定め、イメージアップに取り組んでいます。
- ・ 夕刻から夜にかけてみなとを演出する魅力的な取組が不十分です。
- ・ 水際線は、良好な釣場が多くあり、釣りを楽しむ人がたくさんいます。
- ・ 元宇品地区では「自然とふれあい、地球（アース）を“想う”共生の場づくり」を目指す方向（基本理念）とした「アース・ミュージアム元宇品」により、「体験学習・自然観察」、「ウォーキング・健康づくり」、「研究、自然保護」、「散策・探勝」等、自然を体感する場としての取組が行われています。

※ 「宇品デポルトピア (UJINA-DEP-PORTO-PIA)」

倉庫を表す「デポ」、みなとを表す「ポルト (伊語)」、理想郷を表す「ユートピア」を組み合わせた造語

#### ○イメージアップに求められる取組

- ・ 多くの魅力的なみなと資源の場所や写真、アクセスの方法などを記載した地区のマップ作成による観光拠点としてのブランド化
- ・ 広く県内外の人に知ってもらい、親しみを持っていただくために、特徴ある地域について、愛称（ネーミング）を命名
- ・ 夜間にクルーズ船から陸を眺めたときの景観や、宇品・出島地区に訪れたときの景観が、魅力的になる演出の検討
- ・ 水際線において様々な楽しみ方をする人が、それぞれ気持ちよく過ごすことができる取組
- ・ 宇品・出島地区の魅力あるみなと資源である瀬戸内海や原生林、自然海岸等における自然学習や環境学習の取組



観光拠点としてのブランド化の  
推進[マップ情報量の充実]  
(広島市)



夜間景観の演出[広島ドリミネーション2011](平和  
大通り)

## 宇品デポルトピア (UJINA-DEP-PORTO-PIA)



愛称の決定[宇品デポルトピア(平成 23 年 9 月)](宇品中央地区)



快適に利用できる空間づくり  
[釣りマナー啓発隊((財)日本釣振興会)による釣りマナー啓発](広島市)



自然学習・環境学習の取組[小学生  
等のフィールドワーク授業]



自然学習・環境学習の取組[南区魅力発見ガ  
イドツアー](元宇品地区)

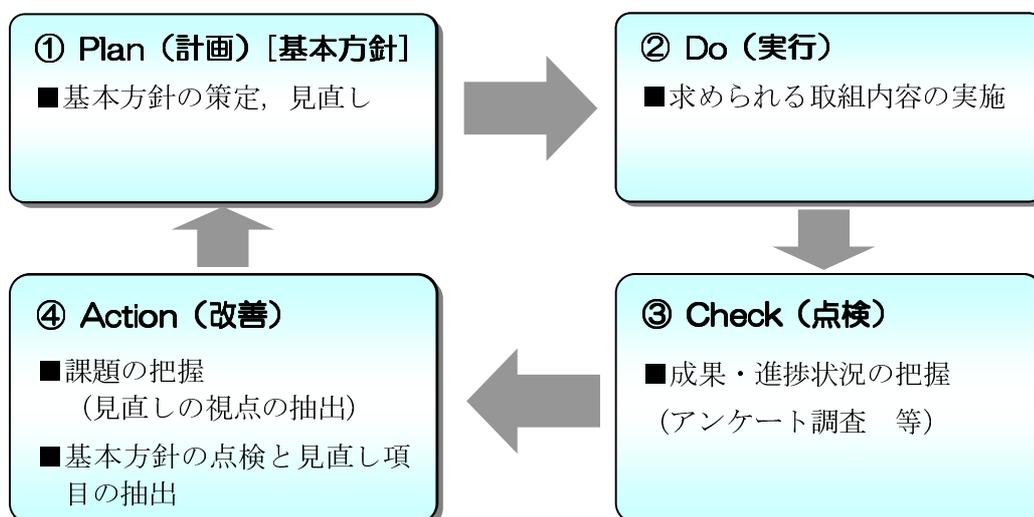
## VI 基本方針の実現化に向けて

### 1 PDCAサイクルの導入

宇品・出島地区では、長期的な見通しを立てて賑わいづくりを進めていきますが、取組途中で社会情勢等が変化する可能性があり、適正な進行管理と必要な見直しに取り組む必要があります。

そのため、計画[基本方針](Plan)を、実行に移し(Do)、結果・成果を点検し(Check)、改善し(Action)、次の計画[基本方針](Plan)へとつなげる進行管理を行います。なお、社会情勢の変化などにより緊急を要するものは、速やかに点検(Check)、改善(Action)、計画(Plan)更新を行うほか、緊急を要さないものについても、概ね5年ごとに行います。

#### ●PDCA（計画—実行—点検—改善）サイクル



### 2 具体化に向けたエリアマネジメントの推進

宇品・出島地区では、県・市だけでなく、交流厚生用地等の民間企業、自然・歴史資源の愛好家など、多様な主体が一体となって、宇品・出島地区の魅力を育むことが重要です。

各ゾーンで目指すイメージや、それらを通した宇品・出島地区の全体コンセプトを実現するため、県・市及び宇品・出島地区に関わる民間企業や、まちづくり活動を行う市民・NPO等と適正な役割分担を行い、連携を図ることで、より大きな魅力づくりが進められるエリアマネジメントの推進に取り組んでいきます。

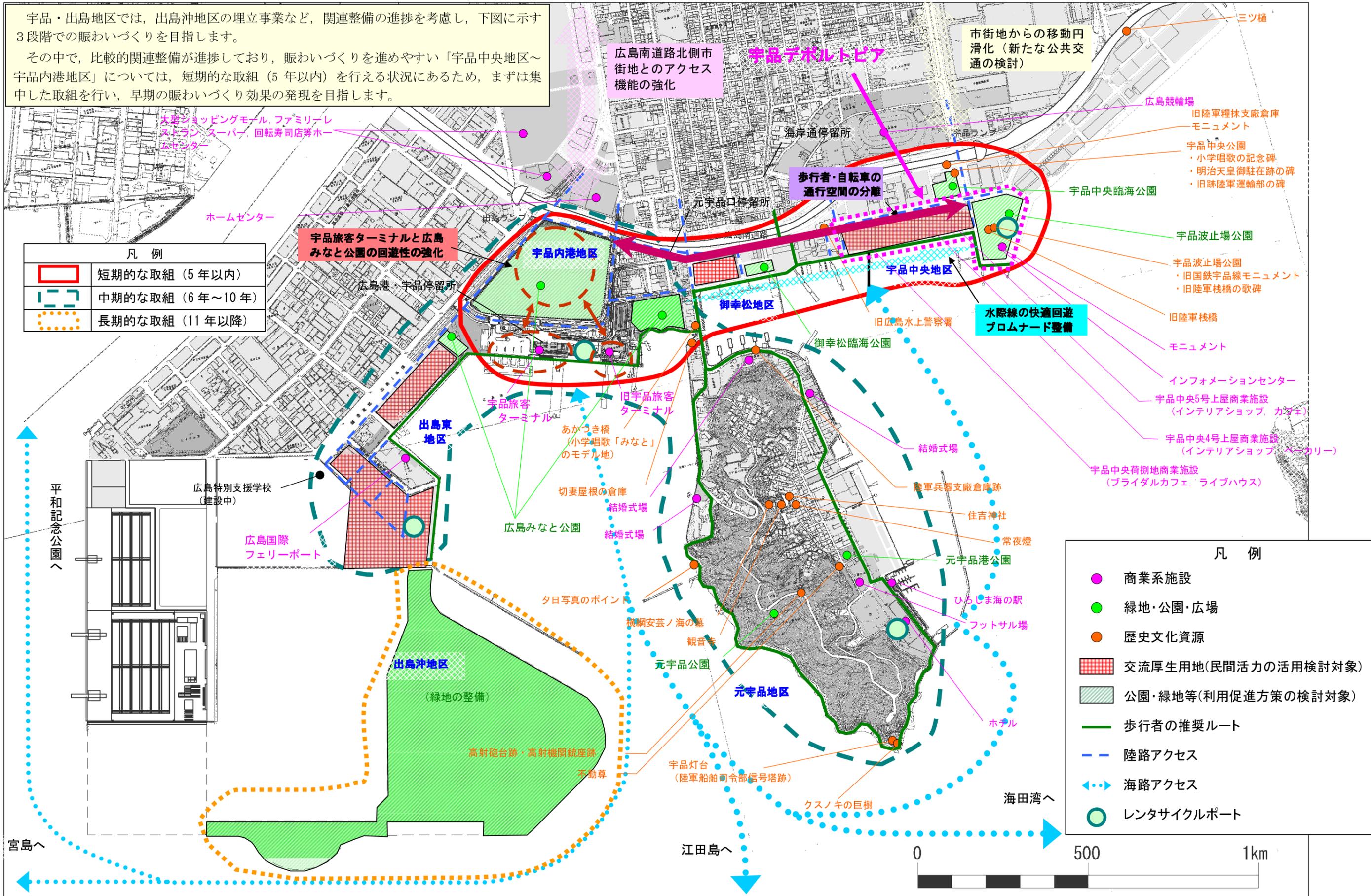


# VII 取組の一覧

## 1 全体図 (短期・中期・長期の取組一覧)

宇品・出島地区では、出島沖地区の埋立事業など、関連整備の進捗を考慮し、下図に示す3段階での賑わいづくりを目指します。

その中で、比較的関連整備が進捗しており、賑わいづくりを進めやすい「宇品中央地区～宇品内港地区」については、短期的な取組 (5年以内) を行える状況にあるため、まずは集中した取組を行い、早期の賑わいづくり効果の発現を目指します。



## 2 全体表（短期・中期・長期の取組一覧）

### 2-1 みなと資源の有効活用の取組

取組内容	短期（5年以内）	中期（6年～10年）	長期（11年以降）
(1) みなとの資源を活かし楽しむゾーン			
○宇品中央地区に求められる取組			
・上屋等の有効活用、イベントと商業施設との連携	・商業施設への利用転換	・イベントと商業施設との連携	
・元宇品の自然や瀬戸内海などの風景を楽しむ空間利用	・休憩施設、展望施設の設置など		
・歴史資源のPR、歴史を感じながら憩える場所づくり	・案内板の設置など	・歴史資源のPR	
○御幸松地区に求められる取組			
・散策途中の休憩スペース、情報提供の場所づくり	休憩施設、展望施設、インフォメーションセンターの設置など		
・元宇品の自然やみなとまちの特色を活かす空間利用	・商業施設の誘致		
(2) 海・緑の自然とふれあうゾーン			
○元宇品地区に求められる取組			
・自然資源のPR等による地区への誘導促進		・散策ルート上での案内板の設置など	
・「アース・ミュージアム元宇品（地球博物館）」への支援		・PRなど	
・「学習」の場所としての利用促進		・動植物の観察や環境学習の実施、海水に触れられる空間づくりなど	
(3) 瀬戸内海の魅力を発信するゾーン			
○出島東地区に求められる取組			
・船舶の係留施設を利用した商業施設や文化施設等の空間利用	・魚介類販売・飲食店舗、遊覧船や船上レストラン、瀬戸内海に関するものなど国際的な文化を発信する施設、病院船基地の誘致など		
・元宇品の自然やみなとの情景を活かした空間利用		・シンボルとなる施設（スポーツ施設、水族館）などの誘致	
○出島沖地区に求められる取組			
・瀬戸内海からの玄関口を感じられるシンボル性のある施設づくり			・瀬戸内海の玄関を形成する文化施設の設置など
・元宇品の原生林との相乗効果が得られる豊かな緑空間づくり			・元宇品と対をなす緑の広場整備など
・広島特別支援学校等と連携した「学習」の場所としての利用促進			・海に関わる動植物や海そのものの観察や環境学習など
(4) みなととまちの交流を育むゾーン			
○宇品内港地区に求められる取組			
・宇品旅客ターミナル及び広島みなと公園付近を賑わい空間の拠点とする利用の促進	・待合わせ場所、レンタサイクルポートの設置など		
・宇品旅客ターミナルと広島みなと公園の接続強化による、賑わいの相乗効果の向上促進		・施設間を結ぶペDESTリアンデッキの設置など	
・広島南道路北側市街地の商業施設等との連携強化		・広島みなと公園出入口の整備、分かりやすい案内表示など	
・利用者や社会のニーズにあった施設の運営や活用による、日常の活性化の促進		・運動広場等としての利用促進	

2-2 交通環境の向上の取組

取組内容	短期(5年以内)	中期(6~10年)	長期(11年以上)
(1) 宇品・出島地区までのアクセス機能強化			
○陸上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組			
・賑わいづくり(商業施設への利用転換等)の取組に合わせた、公共交通機関に対するバスルート等の追加検討の要請	(宇品中央地区)	(出島東地区)	(出島沖地区)
・賑わいづくり(イベントやコンベンション開催等)の取組に合わせた、公共交通機関に対するバス便やバスルート等の追加検討の要請	(宇品中央地区)	(出島東地区)	(出島沖地区)
・(商業者等地元と連携した、)路面電車の駅やバス停から地区までの判りやすい案内サインの設置検討		(宇品中央地区・御幸松地区)	
・賑わい施設等に対する適切な駐車場の確保		(宇品中央地区・宇品内港地区)	
・駐車場利用に係る柔軟な運用や駐車場サービスの提供に関する検討		(宇品中央地区・宇品内港地区)	
○海上交通機関のアクセス機能強化に求められる取組			
・既存航路維持に向けた取組		・PRの強化・複数の交通手段利用	
・サイクリングと連携した定期航路の利用促進		・サイクリングバスのPRなど	
・クルーズ船の誘致や観光等新たな航路の開発促進		・関係機関との調整・PRなど	
・海に関連した施設の利用促進		・関係機関との調整・PRなど	
(2) 宇品・出島地区内を快適に回遊する環境づくり			
○快適な回遊空間づくりに求められる取組			
・水際線を快適に回遊することができるプロムナードの整備	・プロムナードの整備など (宇品中央地区・御幸松地区・宇品内港)	(元宇品地区・出島東地区)	(出島沖地区)
・瀬戸内海の眺望を楽しむことができる環境づくり	・眺望ベンチの設置など (宇品中央地区・御幸松地区・宇品内港)	(元宇品地区・出島東地区)	(出島沖地区)
・夜の散策を楽しむことができる環境づくり	・プロムナードのライトアップなど (宇品中央地区・御幸松地区・宇品内港)	(元宇品地区・出島東地区)	(出島沖地区)
・歩行者・自転車の通行空間の分離	・路面表示による分離など (宇品中央地区・御幸松地区・宇品内港)	(元宇品地区・出島東地区)	(出島沖地区)
・分かりやすい案内サインの設置	・案内板、サインの設置など (宇品中央地区・御幸松地区・宇品内港地区)	(元宇品地区・出島東地区)	(出島沖地区)
・宇品・出島地区の拠点である宇品旅客ターミナルと広島みなと公園の回遊性強化		・施設間を結ぶペDESTリアンデッキの設置など	
・広島南道路北側市街地とのアクセス機能の強化	・広島みなと公園出入口の整備、分かりやすい案内表示など		
○多様なニーズに対応した回遊手段の充実に求められる取組			
・循環バスやシャトル船による回遊性向上の環境づくり		・循環バス等の環境づくり	
・自転車による回遊性向上の環境づくり		・レンタサイクルボートの整備やシステムの向上など	
・複数の交通手段の利用による割引サービス等の検討		共通乗車券等の検討	

## 2-3 ブランド力向上の取組

取組内容	短期(5年以内)	中期(6年～10年)	長期(11年以降)
(1) 魅力あるイベント開催の取組強化			
○イベント開催支援体制づくりに求められる取組			
・適正な役割分担に基づくイベントの開催		県・市・民間・地域間の連携・協力	
・イベント企画・提案に対する支援制度の検討		・イベントに関するアイデア募集や、民間イベントへの支援など	
・「瀬戸内 海の道構想」に基づく「瀬戸内ブランド」の構築		・帆船や国際クルーズ客船等の寄港の要請やイベントの要請など	
(2) 情報発信の強化			
○地区PRの強化に求められる取組			
・主要ターミナルにおけるアクセス情報発信や地区PRの強化		・主要ターミナルでの案内板の設置、ボランティア等による地区情報の案内・PR	
・地区の魅力等の情報発信(情報誌、インターネット等)		・情報誌・フリーペーパー、インターネット等によるPR	
・ホームページの相互リンク・情報の一元化		・関係機関の運営するHPの相互リンクなど	
・公共交通機関での案内放送・停留所での案内看板・多言語に対応した案内施設等		・関係機関との調整	
(3) イメージアップ			
○イメージアップに求められる取組			
・瀬戸内海の多島美景観を生かした観光拠点としてのブランド化、イメージアップ		・多島美景観を楽しむクルーズ客船等の運行要請、地区のPRなど	
・歴史・自然資源と商業施設などが一体となったマップの作成		・マップ作成を通じた地区のPRなど	
・特徴のあるエリアの愛称を決める等のイメージアップ		・愛称募集など	
・夜間景観の魅力向上を図る演出の検討		・夜間イルミネーションによる演出など	
・水際線のマナー向上		・釣りマナー啓発隊による啓発活動など	
・自然学習や環境学習等の取組を通じたイメージアップ		・フィールドワーク授業や魅力発見ガイドツアーなど	